

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401
 住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12
 氏 名 株式会社マルエツ
 代表取締役社長 古瀬 良多

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区新塚越201 ルリエ新川崎		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業種 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品スーパー・マーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		5121 kJ
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間	2019年度～2021年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.maruetsu.co.jp/corporate/environment/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

マルエツ環境方針（抜粋）

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。

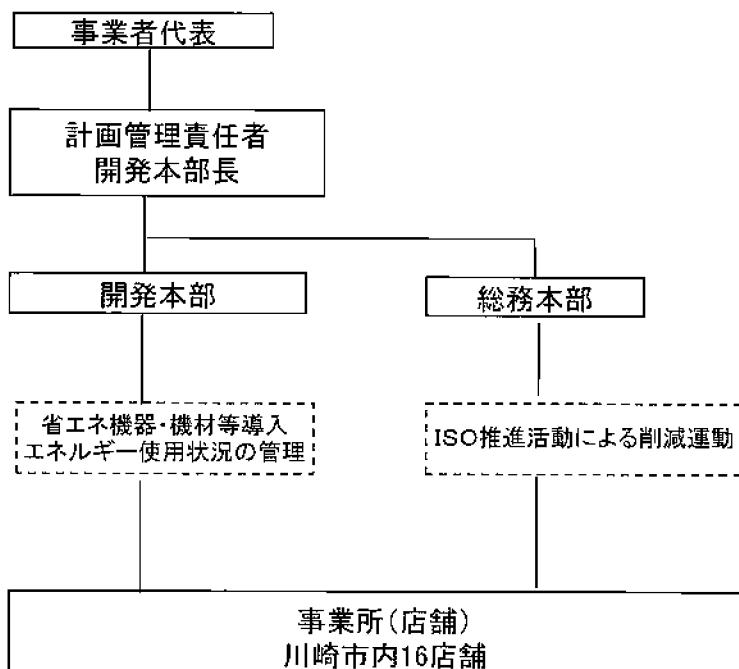
- ①電気使用量削減等の省エネルギー・省資源化を推進します。
- ②最終的な廃棄物を削減するために3Rを推進します。
- ③地球温暖化防止のため、1店舗当りCO₂排出量を削減します。
- ④環境に配慮した商品の普及に取り組みます。

市内の事業所についても、マルエツ環境方針に則り、温室効果ガスの排出量の削減を図ります。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

1. ISO14001を取得しており、その進行管理（PDCAサイクル）を活用する。
との基本方針のもと、当社のCO₂排出量の約8割を占める電気使用量の削減に取り組みます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
基 準 年 度	2018	年度
目 標 年 度	2021	年度
基 準 排 出 量	(実) 8,865 (調) 9,085 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目 標 排 出 量	(実) 8,732 (調) 8,934 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削 減 量	(実) 133 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内 訳 対策実施による削減量	(実) 133 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削 減 率	(実) 1.5 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
原 単 位 等 の 活 動 量	延床面積×営業時間	
原 単 位 の 単 位	t-CO ₂ /1000m ² h	
基 準 年 度 の 値	0.03482	
目 標 年 度 の 値	0.03430	
削 減 率	1.5 %	%

ウ 目標設定に関する説明

排出量原単位は、店舗の増減を考慮しつつ、原則年0.5%削減を目指としています。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 組織横断的な委員会を設けて目標に向けて活動しています。店舗には、該当部署より省エネなどの啓蒙活動を推進していきます。 ○外部機関の利用等 ISO14001を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施しています。 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 温室効果ガスの排出量と密接な関係を持つ、電気、ガス等の管理および変動について管理、分析をします。 ○照明設備の保全管理 売場への導入は完了している為、バックルーム等へLEDを導入します。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

売場のLED化、冷ケースの棚下照明LED化、全店で導入完了。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	費用が合わず、当社での利用は難しいと判断。
風力	○	費用が合わず、当社での利用は難しいと判断。
バイオマス	○	費用が合わず、当社での利用は難しいと判断。
未利用エネルギー	○	費用が合わず、当社での利用は難しいと判断。
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

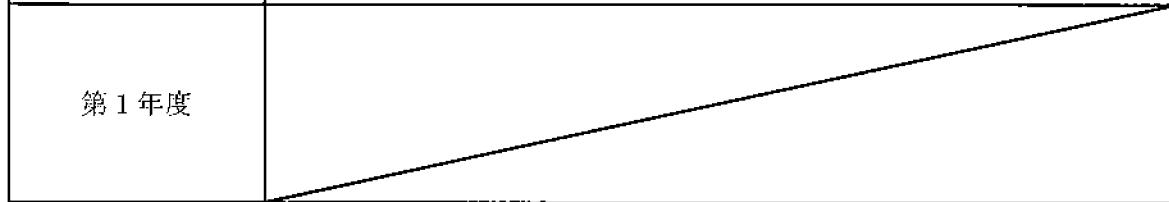
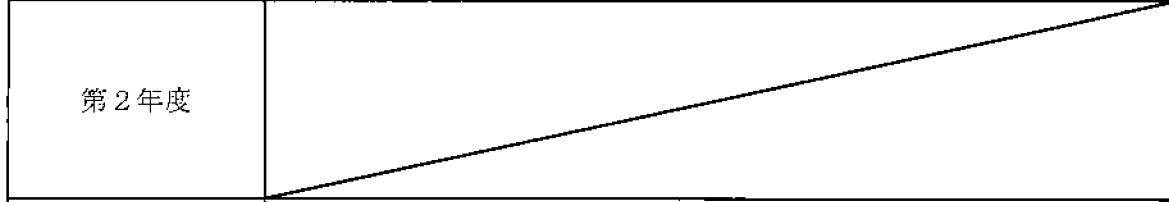
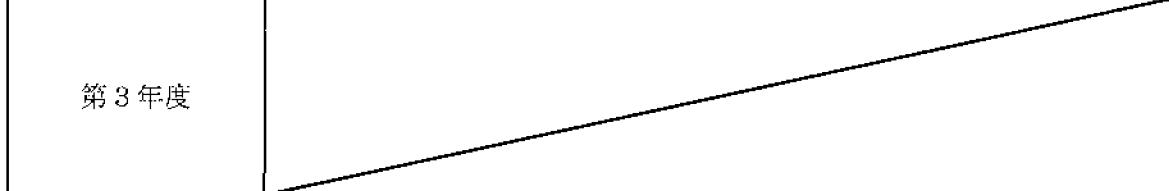
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
なし		

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

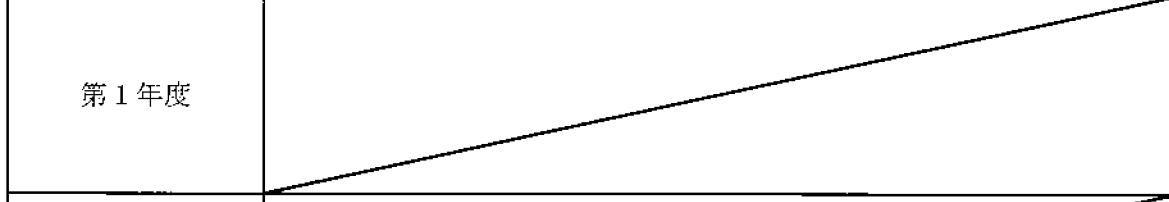
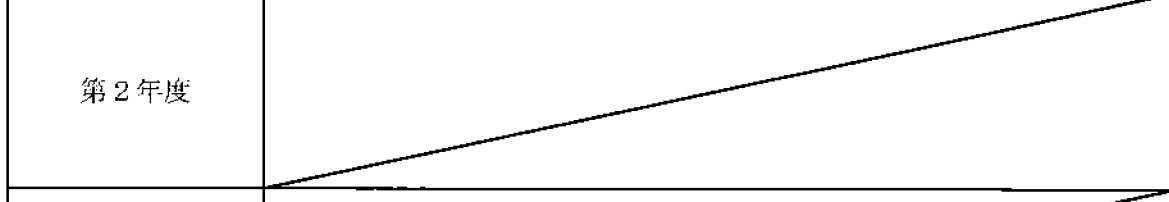
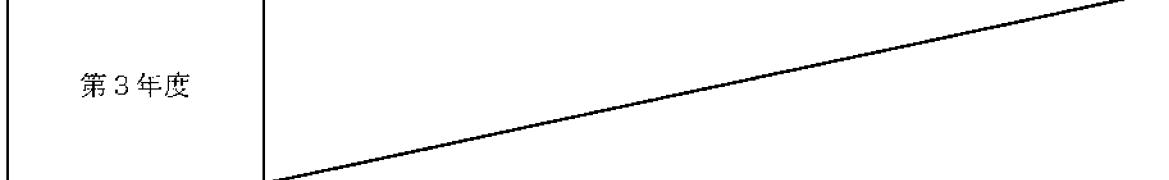
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計画	<ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックリサイクル商品開発 ○詰替え商品の拡販 ○各店頭での食品トレイ、牛乳パック、ペットボトル、ペットボトルキャップの回収とりサイクル ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動 ○レジ袋製造時に関わるCO₂のカーボン・オフセットの実施 ○新入社員環境教育研修として荒川クリーンエイドへの参加
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	8,865	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	5,121	KL
--	-------	----

ウ 事業所の数

	16
--	----

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500KL以上 の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500KL以上:1,500KL未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
鹿島田店	川崎市幸区新堀越201 ルリエ新川崎	996 t-CO ₂
柿生店	川崎市麻生区上麻生5-41-1	868 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂